

令和6年(2024年)8月20日
滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課

琵琶湖でのアオコの発生について(第1号)

令和6年8月19(月)、県琵琶湖保全再生課の職員が草津市北山田漁港および大津市雄琴港北側で、今年初めてのアオコの発生を確認しました。県琵琶湖環境科学研究センターがプランクトンを同定・計数したところ、その結果は下記のとおりでした。

アオコは、昭和58年(1983年)に琵琶湖で初めて発生が確認されて以来、昭和59年(1984年)および平成26年(2014年)を除いて毎年発生が確認されています。

今後のアオコ発生状況は原則として、県HP「琵琶湖の水質(速報)について」において情報提供していく予定です。(滋賀県HPトップページ→県民の方→環境・自然→琵琶湖→琵琶湖の水質(速報)について

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/biwako/300014.html>)

記

アオコの発生状況

発生場所	確認日時	規模	レベル	水温(℃)	構成プランクトン(群体数/ml)
北山田漁港 (草津市北山田町)	8月19日	20m×	4	30.6	ミクロステイス属 880
	10時00分	10m			アハベナ属 290,000
雄琴港北側 (大津市雄琴地先)	8月19日	10m×	4	32.5	ミクロステイス属 1,500
	11時00分	5m			アハベナ属 98,000
					アアゾノモノ属 40

〈参考〉

レベル4：水表面を膜状にうっすらとアオコが覆う。

レベル5：水表面に厚くマット状にアオコが覆う。

レベル6：アオコが腐敗し、浮き滓状になって湖面を覆い、腐敗臭を発する。



北山田漁港で確認されたアオコ



雄琴港北側で確認されたアオコ